

自由民主党神戸市会議員団

<http://www.jimin-kobe.com>

【発行 No.0403-YA】
神戸市中央区加納町
6丁目5番1号
電話 078-331-8181
内線 7060

自由民主党神戸市会議員団 東灘区支部
神戸市会議員

安井俊彦

<http://www.yasui.net/>

神戸市中央区加納町6丁目5-1
電話 078-331-8181

市政報告 (東灘区版)

令和4年度予算案が議会に提案され、審議を致しました

令和4年度当初予算案の大きな考え方として

- 第1は、 コロナとのたたかいに打ち克つ
- 第2は、 健康・安全を守る
- 第3は、 温もりのある地域社会を創る
- 第4は、 のびやかなくらしと環境を創る
- 第5は、 力強い神戸経済を創る

一般会計で、 8,869 億円
特別会計で、 9,935 億円
全会計では、 1兆 8,804 億円

となりました。

これを受け、安井俊彦は豊かな経験と実績を踏まえ、政策を一つ一つ慎重に審議いたしました。また、予算特別委員会における局別審査では、「港湾局」及び「文化スポーツ局」を担当いたしました。



文化スポーツ局に対し審査する
安井俊彦議員（令和4年3月9日）

コロナ対策の柱であります東灘区の接種状況と、PCR等の検査状況と、もし自分がかかった時の処置について

コロナ対策の柱でありますワクチン接種ですが、東灘区では、3月4日現在、接種率 22.8%、神戸市は 24.8%と東灘区は低いものです。頑張らなければなりません。東灘区のワクチン集団接種会場は、1, 2 回目の接種時は御影公会堂とされてい

ました。長期に渡り地域コミュニティの場としての利用ができていなかったことから、私も微力を尽くし、当局に働きかけた結果、3 回目接種の会場を東神戸センタービルに移すことができました。御影公会堂は、連日満室で利用がされており、区民のコミュニティづくりの場として、本来の姿を復活させることができたことを喜んで

います。オミクロン株の出現により、第6波の感染者数は非常に多くなっています。発熱、せき等の症状が出た場合は、まずはかかりつけ医に相談をしてください。東灘区内では、50の医療機関で診療・検査を受けることができます（3月3日時点）。かかりつけ医がない場合などは、新型コロナウイルス専用健康相談窓口（078-322-6250）に電話してください。

医療機関の検査で陽性となった場合は、保健所から必ず連絡がありますので、その指示に従ってください。万が一それまでに体調が急変した場合には、東灘区保健センター（078-841-4131）にお電話をお願いします。

■ 六甲アイランドの活性化《147,831千円》

今回の当初予算で六甲アイランドの活性化として主に6つの柱があります。

- ・AOIA 跡地の利活用に向けた基盤整備
- ・まちの魅力発信や回遊性向上を図るデジタルサイネージの設置
- ・リバーモール空間を活用した足湯施設の設置
- ・神戸ファッションプラザの活性化（サン広場の憩い・集う空間化）
- ・神戸ファッションマートエントランスの活性化
- ・日展・神戸展の開催
- ・（仮称）六甲アイランド・アートフェア

1. サン広場等のリニューアル内容

(1) サン広場（整備費：40,000千円）

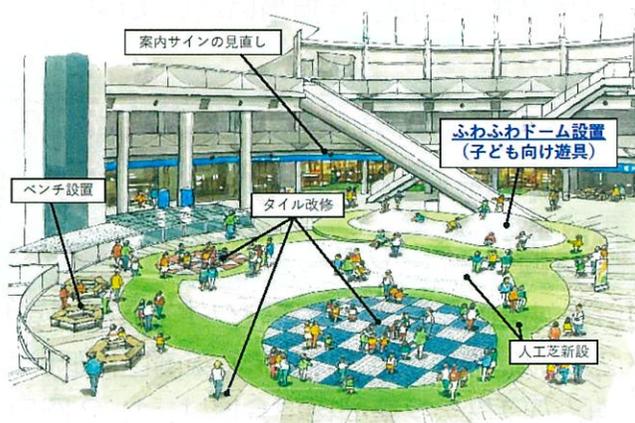
○整備内容

- ・ふわふわドームの設置（子供向け大型遊具）
- ・床面の人工芝化および一部タイル改修を実施
- ・ベンチの設置
- ・案内サインの見直し など

○完成時期：令和4年5月中旬
（令和4年2月着工済）

○ふわふわドームの運用

- ・利用時間：朝～夕方（詳細な時間は調整中）
- ・利用料：無償
- ・対象年齢：3歳～12歳



2. 足湯施設の設置（整備費：30,000千円）

○施設概要

- ・規模：10～15人程度（全体面積約35㎡、足湯面積約7㎡）
- ・特徴：浴槽ごとに水深差を設置（10cm～30cm）
川のように上から下に向かって流れのある足湯施設を整備
- ・温泉：神戸ベイシエラトンホテルから供給

- その他：全天候で利用できるよう屋根を設置

○完成時期：令和4年秋頃
(春頃 着工予定)

○運用

- 利用時間：朝～夕方頃
(詳細な時間は調整中)
- 利用料：無償



御影公会堂に名器スタインウェイピアノ(中古)が一時設置

御影公会堂は、火垂るの墓や加納治五郎資料館及び、館そのものが歴史的建造物として名高いものです。加えて音楽愛好家からは音楽が身近に聞け楽しめる手頃な広さと風格がある館として注目されていましたが、ピアノが不相当であったため、多くのコンサートが不可でありました。そこで御影の、まちづくり協議会会長 高嶋良平さん、御影自治会連絡協議会 鍵田武志さん等、皆様が神戸市に陳情していただいた結果、市の努力で、中古ながらスタインウェイ社のピアノが6月頃に設置される事になりました。地元御影・住吉の眼科医・山中昭文先生らの御尽力で、日本で著名な音楽家、チェロ奏者の渡邊辰記さん、ピアノの釈迦群洋介さん、ヴァイオリンの中田潔子さんらを招いて、御影公会堂で8月14日に「(仮称)火垂るの墓・加納治五郎記念 御影クラシックコンサート」と、館内においてアトリエ太陽の子主宰で画家の中嶋洋子さんの個展もあわせて開催する計画が進められています。もともと御影地区では御影音楽祭(実行委員長：馬場喜美世さん)が毎年盛大に行われる等、音楽文化を持つ地域だけに喜んでいきます。

甲南医療センター グランドオープン 2月27日

平成25年から新病院建設事業が始まり、29年工事着工、令和4年2月ですべて完了した式典が行われ、東灘区長、神戸大学学長、神戸大学副学長(病院担当)・住吉学園理事長等が招かれ、テープカットと祝辞があり、安井俊彦議員も招かれ、両



グランドオープンでのテープカットに参加(2月27日)

方に場が与えられた。安井俊彦議員は当院が東灘区と灘区の基幹病院として絶対必要であることから、あらゆる面で微力を捧げて来ただけに、感無量であると述べた。挨拶において、88年前、創立者の平生鉢三郎先生が真に患者の為になる病院たれと創立したその精神を受け継いでいること、また一般財団法人 住吉学園他、地域の皆様に支えられていることを心し、区民の為の病院であってほしい。また、地域も病院を守り育て行こうと語った。

インドと日本の友好のために インドの国宝級アーティストの作品を 神戸市立博物館で展示

神戸市会の日印友好神戸市会議員連盟の初代会長として、安井俊彦議員はアーメダバード市と神戸市との友好提携、また毎年インディアメーラーを開催したこともあり、在大阪・神戸インド総領事から議連に要望があり、本年12月17日より約3か月間開催する予定になった。

本年は日印講和提携から70周年、インド独立75周年であることから安井俊彦議員は同時期を神戸市民がインドを思い起こす期間としたいと願っております。見学料を有料か無料か等、詳細についてはこれから検討する予定です。

日本での最大の展覧会 六甲アイランドで 「日展・神戸展」が開催決定

神戸市では、兵庫県内の日展関係者の意向を受け、検討を進めてきた結果、「日展・大阪展」を六甲アイランドにある「神戸ゆかりの美術館」「神戸ファッション美術館」で開催することが決定しましたので、お知らせいたします。

今後、「日展・神戸展」の会期に合わせて、六甲アイランドの街を盛り上げるアート系イベントの開催なども検討していきます。

1. 「日展・神戸展」開催概要

- (1)開催時期 令和5年～7年の各年2～3月にかけて約1か月間
- (2)会場 神戸ゆかりの美術館（神戸市東灘区向洋町中2-9-1）
神戸ファッション美術館（神戸市東灘区向洋町中2-9-1）
- (3)内容 東京展に出品された基本作品約200点に加えて、兵庫、大阪、奈良、和歌山に在住する会員作家の作品や公募により選ばれた入選作品などを展示予定。

これにより大阪では1ヵ月4万～5万人の来客があり、近畿の人々に六甲アイランドの良さも紹介できると共に、イメージアップにもつながり、又、隣接の魚崎・御影・住吉の酒蔵や、だんじり文化を紹介できる等、大きな波及効果も予想されます。安井議員も成功の為に全力を上げる予定です。

2月18日開会された総務財務委員会に於いて、「須磨区選挙管理委員会の選挙公報未配布に係る再発防止策について」、「王子公園再整備基本方針(素案)」の見直しについて発言致しました。

選挙管理委員会への質問

質問 | 安達和彦 「もともと4年前の未配布の件が、地域も配布者も特定されており、そこだけの手当てでよかったものを、須磨区全体を一社に任せてしまったことから、こういうことになってしまったと思います。今回配布を元に戻すということで、私もそれがいいと思いますが、4年前一社にした為に、それまで担っていた地域団体と信頼関係を損ねていると思います。7月には参議院選挙もある訳で、早急に信頼関係を構築して戴きたいと思ひます。」

答弁 | 片山須磨区長 「自治会の方々、婦人会の方々等に、平成29年からの経緯を踏まえて、今回の事案をご説明申し上げて、7月の選挙に向けまして、協力戴けるよう相談して参ります。」



▲総務財務委員会(令和4年2月18日)

企画調整局への質問

質問 | 安達和彦 「市民意見を見せて戴き、確かになるほどと思う意見もあれば、単なる説明不足じゃないのか、或いは誤解ではないのかというものもありました。特に大学に対する意見も多いようですが、やはり街の賑わい創出のためには大学は必須と考えていますが、パブリックコメントに相当数の意見が寄せられていることを踏まえて、再整備の方針を見直すお考えはありますか再度お聞きします。」

答弁 | 辻企画調整局長 「今回のコメントの多さは、やはり素案に対しての非常に多くの市民の皆様の王子公園に対する愛着なり関心を感じています。進め方を含めて王子公園の再整備の方向性なりゾーニングについて一定の見直しを図っていく必要があると考へます。」

地元の皆様、住民の皆様との対話等を通じて、様々な意見、アイデアを伺いながら、検討を進めたいと考えてございます。」

質問 | 安達和彦 「素案という言葉が出て、局長からはたたき台とのことだと言われた訳ですが、今朝の朝刊にも見直しへと見出しに書いています。たたき台をより良い案になるよう、我々も意見を申し上げたいと思ひます。」



▲令和4年 水素燃料バスを1台納入

市バスを運営している神戸市交通局も、一台だけではありますが、水素バスを令和4年度導入いたします。(実際の運行は令和5年1月頃になりそうです。)

カーボンニュートラルについて

全世界でカーボンニュートラルが叫ばれており、我が国においても、一昨年の菅義偉総理の就任時に、2050年にカーボン0(ゼロ)を目指す旨と表明され、色々な分野でカーボンニュートラルに向け施策が進んでいます。CO2を出さない自然エネルギーや水素による発電や水素自動車の開発が進んでいます。神戸市港湾局でも、カーボンニュートラルを目指しての港湾運営に取り組んでいますし、久元神戸市長の公用車も水素自動車に替えています。

市政報告

神戸市会議員 須磨区
あだち和彦 須磨区版

神戸市中央区加納町6丁目5-1 電話 078-331-8181 (内線)7060

ロシアのウクライナ侵攻に抗議する決議
全会一致で採択!

BE KOBE

令和4年3月1日午前9時30分、神戸市会臨時本会議が開会され、
ロシアのウクライナ侵攻に対し厳重に抗議の意を表するとともに、
我が国政府に対し厳格かつ適切な対応を求める決意を表明する為の決議(議員提出第29号議案)を
全会一致で採択しました。

提案議員を代表し、決議案の提案理由説明をさせて戴きました。

ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議

ロシアは、去る2月24日にウクライナへの軍事侵攻を開始し、一般市民を含め多数の死傷者が出ている。

武力によるロシアの攻撃はウクライナへの重大な主権侵害であり、国際社会ひいては我が国の平和と秩序、安全を脅かし、かつ明らかに国連憲章に違反する行為であり、断じて容認できない。

よって、神戸市会は、ロシアによるウクライナへの攻撃や主権侵害に対し厳重に抗議の意を表するとともに、ロシア軍を完全かつ無条件で即時に撤退させるよう、国際法に基づく誠意を持った対応を強く求める。また、政府におかれては、関係各国及び国際社会との緊密な連携のもと厳格かつ適切な対応を講じられるよう、強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月1日

神戸市会



▲決議案の提案理由説明を行う安達和彦議員

◀ バリアフリー化工事が進む東須磨駅

JR 須磨駅北側にエレベーターを設置した時と同様、東須磨駅のバリアフリー化についても、一人の議員ではなく超党派の議員で取り組んできました。一昨年7月に国の方で事業費総額5億円で、国と山陽電鉄が1/3ずつ、兵庫県と神戸市が1/6ずつの負担と決まりましたが、その後の詳細設計で北側エレベーターと多機能トイレの位置変更等により、追加工事が発生した為、事業費総額が6億3千万円となり、前述の国・山陽電鉄・神戸市の三者で負担することになりました。神戸市はルール通り1/6の1億500万円の拠出を決めましたが、兵庫県は2経路目になる南側エレベーターについては、補助対象外として自らの負担額から約1千万円減額していますので、その分を事業者である山陽電鉄が負担しています。(下記参照)

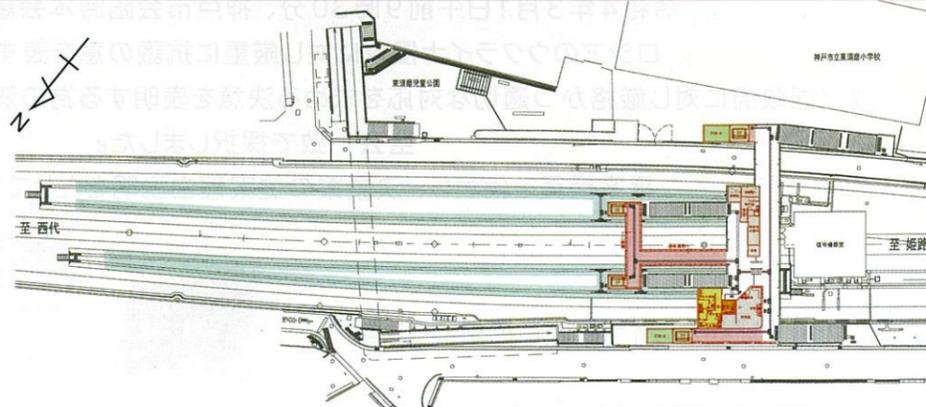
そもそも、東須磨駅のバリアフリー化の話は南側階段の昇り降りが特にお年寄りや障がい者のみなさんにとって大変だからというところから始まっているにも拘わらず、兵庫県は2経路目は、迂回距離がホームの長さ以上でなければ対象にしないという訳の分からない規定を設けて負担を減らそうとされていますが、全く間違った規定だと言わざるを得ません。しかし昭和46年、橋上駅になって以来、54年もの間、念願であったバリアフリー化が実現することには間違いがありませんので、完成した時には是非ご利用戴きたいと思えます。バリアフリー化工事中、現場資材置き場や工事用車両駐車場に使われている小学校北東にある小公園に工事終了後、そちらにも須磨浦普賢象桜を数本植樹することになっています。

東須磨駅のバリアフリー化工事の詳細について【総事業費：634,780千円】

内訳

国：211,593千円 (補助対象事業費×1/3)
 県：96,332千円 (補助対象事業費×1/6)
※南側EVは補助対象外
 市：105,796千円 (補助対象事業費×1/6)
 事業者：221,059千円

※ただし、上記金額は令和4年度事業にかかる補助事前協議のため、令和3年8月に山陽電気鉄道株式会社から神戸市に提出のあった「全体事業計画書」に基づく数値であり、実際の交付申請額や補助額とは異なる場合があります



長年の懸案であった
 山陽電鉄東須磨駅の
 バリアフリー化工事が進んでいます

須磨浦普賢象桜、今年も50本植樹します

須磨浦普賢象桜という、須磨の名の付いた珍しい黄色の桜を復活させる為、2019年2月、平成2年に新種として発見された須磨浦公園(発見された原木はその後枯死)に、50本植樹したのを皮切りに、毎年「日本さくらの会」から苗木50本を寄贈して戴き、これまでの3年間で須磨区内に150本植樹しています。(ご自身で、ご購入協力戴き、植えておられる方も何人かいらっしゃるの、総数はもう少し多いと思われます。)そして今年も「日本さくらの会」より50本の苗木を戴きましたので、須磨区内の小中学



▲2019年2月2日 須磨浦公園に久元市長とともに植樹

校及び須磨浦公園や妙法寺川左岸公園に植樹致します。

樽廻船再現イベント

神戸を代表する地場産業をしっかりと支援していこうという意味を含めて、2014年10月に神戸市会に於いて、議員提案条例で「神戸灘の酒による乾杯推進条例」が制定され、市民の間にもすいぶん定着しています。また2020年6月には「伊丹諸白と灘五郷」が日本遺産に認定されました。灘五郷のお酒は江戸時代「樽廻船」という樽酒運搬専用船で海路江戸に運ばれたことから好評を博しましたが、現在樽廻船は現存しません。そこで、日本遺産登録を記念して、灘五郷のお酒を海路江戸・現在の東京までなんらかの船で運ぶ樽廻船再現イベントのようなことが出来ないかと、東灘区の安井俊彦議員から提案があり、私が顧問を務める須磨ヨットクラブにお願いして、樽廻船ならぬ樽廻ヨットが、何回かコロナ禍の為に延期を余儀なくされましたが、文化庁の後援も戴いた上、神戸観光局・神戸市経済観光局、港湾局に加え西宮市の協力も得て、漸く昨年11月23日、久元喜造神戸市長・石井登志郎西宮市長も見守る中、神戸港中突堤を出港することが出来、同月28日、東京ウォーターズ竹芝に無事着岸致しました。

大成功の裡に終了致しましたが、何より、須磨ヨットクラブ様の協力がなければ実施することすら出来なかった訳で、改めて感謝申し上げます。



◀ 令和3年11月23日 神戸中突堤より出港

▼11月28日 東京竹芝にて樽酒積みおろし



須磨海岸の再整備について



▲須磨海岸再整備のイメージパース

阪神間に唯一残された須磨海水浴場を含む須磨海岸一帯に於いて、須磨水族館の建て替えが進んでいる他、これまで以上に家族連れが安心して遊べる空間を目指して、再整備がなされようとしています。JR須磨駅からヨットハーバー付近を結ぶ遊歩道に「歩行者共存モビリティ実証実験」で、人が歩く程度の速度で自動走行車を走らせ、幅広い世代が散策を楽しむ計画や、ヨットハーバーの防波堤を利用して、実験的に須磨と淡路島を結ぶ航路を開設し、自転車で淡路島を一周する「あわいち」の人気にあやかり、サイクリストを運ぶ連絡船の就航なども考えられています。



◀ 令和4年2月3日 都心三宮歩行者共存モビリティ実証実験

“わかりやすい!”をモットーに神戸市政に関わるトピックをお伝えします!

令和4年3月4日、河南(かわなみ)が予算特別委員会(第3分科会)にて教育委員会に対し質疑させていただいた内容を報告します。

かわなみ

ただかす 《中央区》

今回の報告

学校の問題

不登校

給食

PTA

神戸市の中学生の不登校数が多いんです!

20 指定都市の市立中学で、ワースト2 大阪市に次いで



かわなみ 質疑 不登校の児童・生徒数が多い要因と児童・生徒への対応について

令和2年度児童生徒の問題行動・不登校等の状況についての調査結果(下記メモ参照)によると、神戸市の不登校児童生徒数が全国、兵庫県、指定都市の平均と比べて高い数値となっています。この要因についてどのように考えているのか、また、不登校児童・生徒数の増加に対してどのように対応しているのか、見解をお伺いします。

河野教育委員会事務局担当部長からの答弁

考えられる要因

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う学校生活が大きな影響を受けたことなどにより、児童・生徒の生活リズムが乱れやすくなった
- フリースクール等の学校以外の学びの場が増加したことによる、保護者本人の学びに対する考え方の変化

神戸市での対応・対策

●くすのき教室を市内8か所に設置

不登校児童・生徒に対し、学習指導や体験を通じた指導を行う『くすのき教室』を市内8か所に設置し、児童・生徒の社会的自立に向けて、1人1人に寄り添った支援を行っている。

●校内の別教室を利用した学習指導

ほとんどの中学校においては、校内の別教室を利用して、教室に入りたくても入れない生徒を対象に、個々の状況等に応じた学習指導などの取組を行うことで、1人1人に寄り添った支援に努めている。

●不登校コーディネーターの増員

不登校に至った要因、背景にも即した適切な支援、働きかけが必要と考えている。令和4年度予算案に、不登校コーディネーター1名を増員する予算を盛り込んでいる。

不登校コーディネーター2名体制のうち、1名は不登校児童・生徒を対象とした支援や対応、もう1人につきましては、新たな不登校が生じない学校づくり、いわゆる魅力ある学校づくりの具体化に向けた取組を強化していきたい。

令和2年度 児童生徒の問題行動・不登校等の状況についての調査結果

不登校の児童・生徒 小学生、中学生、高校生の合計

2,825人

↑300人以上の増加!

令和元年度 2,512人

その内、神戸市の不登校児童生徒数は全国、兵庫県、指定都市の平均と比べて高い数値で報告されています

不登校多い順

指定都市別(指定都市立小・中学校) 1,000人当たりの不登校児童生徒数(人)

	小学校	中学校
1	福岡市 12.8	大阪市 64.8
2	堺市 12.6	神戸市 55.8
3	熊本市 12.5	札幌市 55.3
...
9	神戸市 11.3	...
...
20	北九州市 6.7	さいたま市 29.5
	10.9	令和2年度平均 46.4
	9.2	令和元年度平均 45.6

かわなみ 質疑 登校することの意義を保護者に発信することも必要では?

この調査による不登校の要因を神戸市の小学生で見ると、『無気力、不安』が41.9%、『親子の関わり方』16.3%、『生活リズムの乱れ、遊び、非行』が14.4%となっており、学校生活が要因となっている割合はあまり多くないように見えます。また、その他の長期欠席の具体例として、保護者の教育に関する考え方、登校についての無理解との記載もあり、家庭や保護者の考え方が不登校、長期欠席に結びついている事例が多いのではないのでしょうか。



かわなみの視点

小学生の最初の社会は『子供と保護者の関係』で、『最初で最小の社会』でもあります。子供の考え方、立ち居振る舞いにも大きく影響を与えます。学校で先生や他の生徒と交わることで、家庭以外の社会に触れます。学校が勉強する場だけでなく、社会性を身につける場であることなど、登校することの意義を保護者に発信することも必要かと思えます。

河野教育委員会事務局担当部長からの答弁

児童・生徒が不登校になってからの事後的な取組だけでなく、児童・生徒が不登校にならない、魅力ある学校づくりを目指すことが重要であるとされている。(かわなみ)委員の『学校が社会性を身につける場である』といった視点も、この魅力ある学校づくりの重要な要素として取り組んでいきたいと考えている、また、今後設置予定の検討会においても、(かわなみ)委員の『保護者への発信』といった視点についても議論を重ねていきたい。

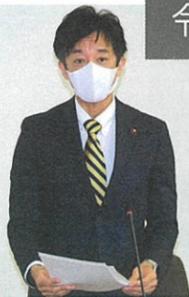


かわなみの視点

魅力ある学校の中の1つが『先生の魅力』だと思います

不登校の背景に『いじめ』や『友達関係でのつまづき』等があるかもしれませんが、その端緒をまず感じて、指導するのが先生であり、親であると思うのです。コーディネーターを1名増やすという方針もありますが、魅力ある学校づくりには、まず先生の児童・生徒への接触というか、人間力というか、そのあたりが非常に重要になってくると思えます。





学校の問題

不登校

給食

PTA



かわなみ
質疑

不登校数がワースト2について

神戸市では、中学校の不登校は全国平均より大幅に高く、20 指定都市の市立中学で大阪市に次いでワースト2という不名誉な結果です。中学生の不登校の増加に関してどうお考えでしょうか。まず、全国平均より不登校児童・生徒の割合が神戸市は高いことをいま一度認識して、改善につなげてほしいと思います。

子どもが何かの理由で学校に行くのをぐずっても、親は仕事に出かけなければならず、子どもに真正面から向き合う余裕が無い。このようなシーンを経験された保護者の方も多いかと思えます。



学校を休むということは、親にとっても子どもにとっても心理的に大変なハードルだったと記憶がありますが、今は、アプリのクリック1つで遅刻や病欠が報告できます。

かわなみの
視点

簡単に使えるアプリの手軽さが、簡単に子供の欠席をスタートするきっかけにはなっていないでしょうか。簡単に欠席が続き、やがて不登校に。そうなる前に『行きたくない理由は何なのか?』を、保護者や担任の先生は向き合う必要があると思います。



『子は親の心を実演する名優である』という言葉がありますが、親の考えは子どもの成長に大きく影響するものと思います。教育は学校や教育委員会だけをお願いするものではなく、家族、そして社会を形成する我々の問題、我々1人1人の問題が子どもの不登校などの原因になっていると思います。不登校は学校だけの問題として捉えるのではなく、社会、家庭、学校や先生の問題としても、根気強く改善していくことを共通の認識として捉えていただきたいと思います。

河野教育委員会事務局担当部長からの答弁

神戸市の不登校の主たる要因、特に中学校においては、友人関係をめぐる問題や学業の不振が全国平均より高いという全国的な傾向との違いが結果にあった。

不登校の数が非常に増えていることについては、『生活の乱れ』というようなところもあるかもしれませんが、今、指摘にあったような、『普段の学校の教員の働きかけ』は非常に重要になってまいろうかと思っており、このあたりについても、教員に研修等の機会、あるいは状況をお伝えしながら説明をしてみたい。

かわなみ

質疑の内容は現場の先生へ伝わる?



市会でこのような質疑があり、このようなやり取りがあったというのは、教育委員会から現場の先生に何らかの形で伝わるのでしょうか?

河野教育委員会事務局担当部長からの答弁

大きな項目については校長会等で周知をするようにしているが、細かなやり取りまでは今、周知する仕組みは無いので、現場の先生の努力でこういうものを見ていただくといった状況。

かわなみ
要望

ただでさえ教師の多忙化を言われてる中で、この委員会のやり取りを見る先生はあまりいないと思う。

委員会のやりとりの一部が切り取られて、校長先生への指導なり通達になっていくのかと思うのですが、簡単で良いので、市会であった『やり取り・発言』を簡条書にして伝えていただかないと、この場だけの空気感で終わってしまう気がします。『市会でこういうことが話題になったよ』と、ぜひ学校の先生に伝えていただきたいと思います。

かわなみ
質疑

小学校給食の施設整備について

将来的な小学校給食の提供に関する考え方については、今後の児童数の動向や、校舎の老朽化の進行、学校施設等の有効活用など、様々な観点から検討していく必要があります。

かわなみの
視点

今後、有識者の意見も聞きながら検討するとのことですが、将来、児童数は減少することが確実であり、学校施設や共同調理場の有効活用といった観点から、今後の検討にあたっては、共同調理場や近隣校からの配送などの提供方法についての検討も必要かと考えます。

仮に共同調理場を利用すれば、給食室と配膳室とでは配膳室のほうが少ない面積で済むため、残ったスペースを子供たちの他の施設などに有効利用することも可能となります。今後の給食室の整備の考え方について、見解をお尋ねします。



長田教育長からの答弁

全市的に児童・生徒数が減少傾向にある中で、小学校の給食施設につきましては、将来を見据えた適切な管理運営に取り組む必要があると考えている。

児童数の減少により、給食調理能力において一定の余力が生じてきている。また、同様に余力が生じている小学校の給食室もある。

これらも含め、資産・資源の有効活用を図っていく必要があると考えている。

こういった状況を踏まえて、現在、老朽化等に伴い、校舎の建て替え等を予定している、垂水・春日野小学校、港島学園については、給食室の整備を行わないこととし、適切な給食提供方法の検討をしている。

学校外から給食を配送する場合は、配膳室が必要だが、配膳室は給食室と比べて2分の1から3分の1程度のスペースで済む。この生み出されるスペースを活用し、例えば多目的室であるとか、あるいはカウンセリングに使用する相談室、こういったものを設置することが考えられる。子どもたちの教育環境の向上につながるように、新たに生み出されるスペース、これを有効に活用していきたい。

学校施設や共同調理場の有効活用、また、新たに生み出されるスペースの活用、こういった点も十分に踏まえ、今後、有識者からもご意見を伺いながら検討を進めていきたい。

かわなみ
質疑

PTAの在り方について

PTAは子どもたちの成長や地域の教育環境の改善・充実を図るために活動する団体であり、保護者が学校と話し合いながら子どもたちのことを一緒に考えることのできる活動として果たしてきた役割は大きいものがあると感じています。

一方で、共働きの家庭の増加によりPTA活動を負担に感じる保護者が増え、特にPTA活動は母親が担っていることが多いことから、働く母親にとっては大きな負担になっています。

今後のPTAの在り方としては、働く人もそうでない人も、母親も父親も、誰もが参加できる範囲で参加でき、学校と一緒に子どもたちの成長を見守ることのできる団体を目指すべきものだと考えます。



今後のPTAの在り方とその役割、意義について見解をお尋ねします。

また、既に負担軽減を図ったPTAもあるとお聞きしますが、どのような事例があるのか。また、そういった事例を他のPTAにも共有して、広げていくことが必要だと考えますが、いかがでしょうか。

パトロールを少なくしたり等
いろいろな取組をされてるのは理解しました。

かわなみの 視点

PTAは子どもの成長を願って、保護者と教職員が共に学び、活動するための団体です。子どもに寄り添い、子どものための地域の組織であるはずが、上部団体での活動、会合があれば、対外活動が苦にならない保護者にはよいのかもしれませんが、多くの保護者は仕事を抱えて、ボランティアで参加しており負担になります。

そもそものPTAの目的が『自分の子どもと地域の子どものための団体』と考えれば、上部団体の講演会や研修会への参加などは、PTAの守備範囲が広がり過ぎていたのかもしれない。

上部団体であるPTA協議会を脱退したPTAに関しては、講習会や研修会への動員がなくなって、PTAの会費を本来の子どものための事業で使うことができます。PTAの本来の姿、つまり、あくまで自分の子どもを含む地域の子どもたちの健やかな成長を支えるため、活動しやすくしてほしいですし、PTAが活動しやすくなるように、教育委員会としても学校を通じて支えていただきたいと思います。

かわなみ 要望

共同調理場の利用でスペースが空くなら
子ども達が日本文化に触れる
畳の和室を設置してほしい



共同調理場などが利用されると、学校にスペースができて、建物規模を縮小するのではなく、子どものための用途に利用してほしいと思います。

多目的室やカウンセリング室ということでしたが、私からの提案といたしましては、学校に畳部屋を用意していただければと思います。

マンションや戸建ての住宅でも和室が本当に少なくなってあります。日本の文化を学ぶため、例えば習字や絵画、お茶やお花を和室、畳の部屋で触れる、習うということは、なかなか今の家ではできないことではないでしょうか。果たして正座ができる児童生徒は何人いるのでしょうか。

共同調理場を検討するのなら、空いたスペースをどう有効利用するのかを同時に検討するように要望、また、その際には畳の和室の学校設置を要望します。



長谷川教育委員会事務局長からの答弁

PTAには『保護者の意見を学校へつなげる橋渡しの役割』や、『学校園だけではできない子どもの安全を守る役割』など、『学校園と協力して子どもたちの健やかな成長を図っていただく大変重要な役割』を担っていただいていると認識している。

一方で、共働き世帯が増加するなど、家庭環境やライフスタイルが大きく変化していく中で、従来と同様に活動していただくことの困難さは、我々も理解している。

本来学校園が実施すべきことをPTAにお願いしている事例がある。

例えば、

- ◎行事の受付⇒趣旨に照らして学校園において実施するようにする
- ◎パトロール⇒参加いただける保護者の人数に応じて回数を減らす
- ◎広報紙⇒実際に印刷をせずにホームページに掲載する

など、いろいろ工夫をしながら負担軽減を図っている。

事例の共有については、各校園での取組事例を各学校園へ周知させていただいているところですし、PTAとも情報共有は図っているところでもある。こういった取組事例を紹介した動画を、昨年12月から1月に学校園の管理職やPTAの役員等に御覧いただくなど、情報の共有も図ってきたところである。

児童・生徒の健全な成長については、学校園だけでなく、やはり『PTAや地域の力も頂きながら進めていくことが必要』であると考えておりまして、今後もより多くの保護者の皆さんが参加しやすいものとなりますように、取組事例を共有するなど、各PTAの活動を精いっぱい支援してまいります。



かわなみ 要望

給食食材の廃棄を
減らす取組について

コロナ禍により学校閉鎖の数が非常に多かったことも影響し、廃棄せざるを得ない食材があったとお聞きしています。例えば、指定した場所に運ばば、教育委員会が責任を持って寄附先を探すといったような仕組みをつくるなど、廃棄をなくすように努力すべきだと考えます。

食を扱う業者さんが、自ら廃棄処分をしたり行き場を探したりする手間を避けてあげてほしいと思いますので、ぜひ検討、支援をよろしくお願いいたします。





加納町3丁目の交差点に 東西方向の横断歩道ができます！

かわなみ（河南）が長年声をあげ続け、そして地域の皆さまの長年の願いであった『加納町3丁目の東西横断歩道』がいよいよ着手される予定です。

令和3年度中の完成予定でしたが、工事業者の選定等で延期になっておりました。いよいよ5月に工事着工し、令和4年の秋口には完成を予定しております。課題であった加納町3丁目の南北への歩行が改善されることを期待しましょう！

(令和4年3月現在の見込み)

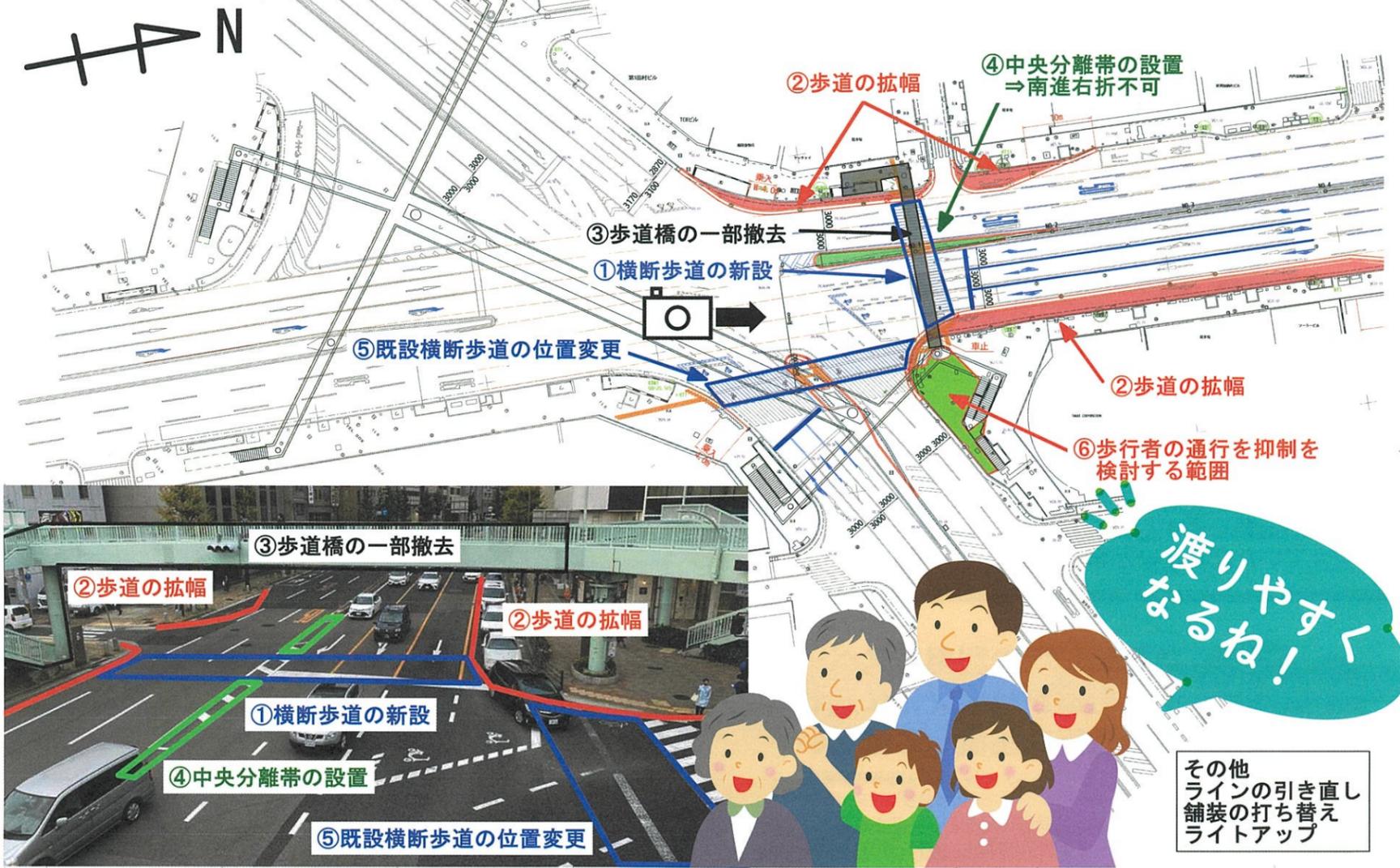
- 北側の東西方向に横断歩道を設置
- 北側の東と西の歩道を拡張
- 中央分離帯を設置
- 歩道橋を一部撤去
- 既存横断歩道の位置変更



かわなみ市政報告vol.32でも報告していた加納町3丁目交差点の東西横断歩道の進捗お知らせ



加納町3丁目交差点改良他工事 (交差点付近工事概要図)



道路整備や街の美化、公園、交通機関など暮らしの中で気になるチョット不便に思うこと、お住まいの地域のこともぜひお聞かせ下さい。

編集後記

今回は教育委員会への質疑を中心に報告しました。不登校の多さの問題を保護者からお聞きし、数字を調べてみると、中学生においては、20指定都市の中で、ワースト2であったことには驚きました。これは、子供だけの問題だけではなく、保護者や社会の問題として受け止めなくてはならないと思います。学校環境の改善について、どうぞ河南（かわなみ）までお声をお寄せください。加納町3丁目の横断歩道完成もご期待ください！ ~かわなみただかず~

発行: 自由民主党神戸市会議員団 かわなみ市政報告vol.37 編集: 2022年(令和4年)3月
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館28階 TEL.078-322-5846
【かわなみ事務所】 〒651-0095 神戸市中央区旭通2-3-5 TEL.078-806-8633 FAX.078-806-8653
■ contact@55kawanami.com ■ http://www.55kawanami.com

神戸市会議員 自由民主党神戸市会議員団

かわなみ

ただかず
《中央区》



“わかりやすい!”をモットーに神戸市政に関わるトピックをお伝えします!

令和4年3月7日、河南かわなみか予算特別委員会(第3分科会)にて経済観光局に対し質疑させていただいた内容を報告します。

かわなみ

ただかす 《中央区》

今回の報告

- 布引の滝のプロモーション強化について
- プレミアム付きお買物券のデジタル化について
- 新型コロナの影響による失業者等への就労支援について
- 失業者等のスキル向上について
- 企業版アーバンイノベーション神戸について
- ★他、お知らせ「三宮・エリア110」の実施について

布引の滝のプロモーション強化について

日本三大神滝と呼ばれる名勝地である『布引の滝』。神戸を代表する観光スポットの1つですが、プロモーション不足について残念に感じている現状をお話し、改善について質疑しました。

かわなみ

かわなみ 質疑 神戸を代表する観光スポットの1つ 布引の滝をもっとPRできないか?

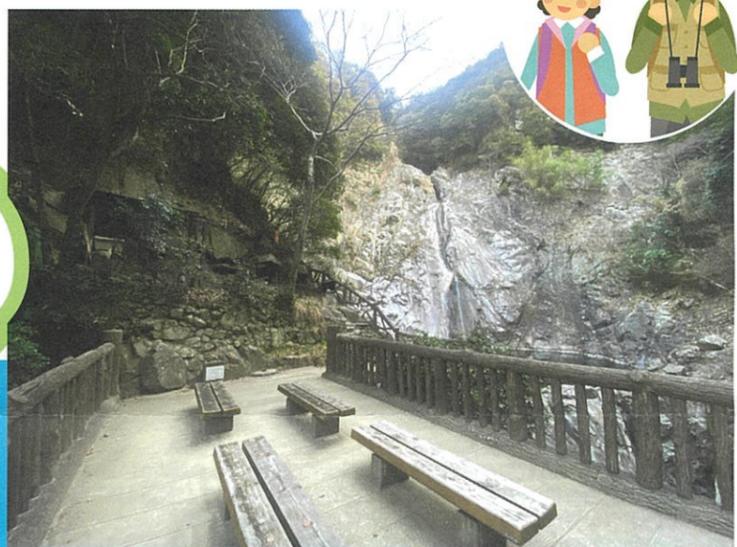
布引の滝は、日光華厳の滝、紀州那智の滝と並んで日本三大神滝と呼ばれる名勝地です。平安時代から数多くの貴族や歌人がお訪れ、名歌が詠まれた歴史ある場所でもあります。さらにはJR神戸駅からわずか徒歩10分程度という立地にも大変恵まれた『神戸を代表する観光スポットの1つ』であります。

しかし同じ中央区の観光エリアの中でも、北野の異人館や旧居留地、メリケンパークなどに比べると、全国的な知名度はまだ高くないと感じます。

過去には中央区が中心となって明治時代に建造された36基の歌碑を復元し、それを生田川沿いに設置する歌碑のみちプロジェクトなどを実施してきましたが、それでも他の観光慰霊に比べると、盛り上がり欠けるのが現状です。

新型コロナの影響により、近場で自然を感じる観光スポットが人気を集めている今こそ、布引の滝のプロモーションを強化していただきたいと考えますが、見解をお伺いいたします。

布引の滝の説明や看板が無いな



かわなみの視点

布引の滝は、日本三大神滝と言われています。那智の滝(和歌山県那智勝浦町)、華厳の滝(栃木県日光市)、そして布引の滝と、このナンバー3に入るというのは金銀銅メダル級の難しいことだと思います。観光スポットとしてのプロモーションを経済観光局に旗を振って取り組んでいただきたいと思っています。

なぜなら、恐らく私は神戸市会議員の中で布引の滝周辺へ一番行っている人間ではないかと、思っていますが、日頃より気になるのが、看板や説明書に一貫性がないのです。例えば、道の案内は中央区役所が、ダムの説明は水道局が、山麓リボンの道の説明は住宅都市局が、というように、各局が色々な看板を出していて、一貫性がないんです。どこかの局が一丸となってまとめていただかないと、統一感が取れていないようなイメージがあります。



日本三大神滝のひとつ 布引の滝

末若経済観光局担当部長からの答弁

布引の滝については、我々も観光プロモーションにいろいろ取り組んでいる。様々な媒体を通じて、布引の滝の魅力を発信しているところ。

現在の取り組み一例

令和3年新たに設定した観光モデルコースにおいて、『神戸駅からたったの15分、絶景&癒しのスポットめぐり』と題した打ち出しをしたり、初心者ハイカー向けのトレッキングコースにおいても、布引の滝をアクセスポイントに設定し、デジタルスタンプラリーやトラッキングツアーを実施するなど、観光スポットとしての認知度向上に取り組んでいる。

プロモーション強化について

2025年の大阪・関西万博、あるいはインバウンドの回復をにらみ、周辺エリアの活性化と合わせて、関係部局、民間事業所と連携を行いながら、布引の滝のプロモーションについても強化をしていく。

看板設置について

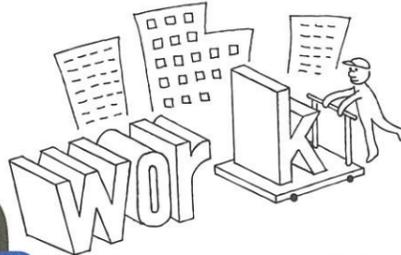
周辺には幾つか看板があるが、まさに滝を望むデッキのところに今看板が無い状況。看板の設置について調整を始める。プロモーションと相乗効果を十分発揮できるように、内容やデザインも工夫しながら、設置に向けて関係局と調整を行っていく。

かわなみの要望 観光スポットにふさわしい『布引の滝』の看板設置を

地域の方からも『神戸市は布引の滝を観光スポットだと思っているのか?』と苦言を聞いています。布引の滝周辺や布引の滝を見晴らす場所には、来訪者向けに説明・解説するような看板が無い状況です。観光スポットにふさわしい案内看板や、三大神滝の1つであるという説明看板の設置をお願いします。

最終ページに「三宮エリアが110円で市バスに乗れる」お知らせがあります

経済観光局への質疑



かわなみ
質疑

新型コロナの影響による 失業者等への就労支援について

新型コロナの影響によって失業や求職をされている方を対象とした、合同企業説明会を開催されていますが、どのように広報活動を行っているのか？

令和3年の開催実績によると…



開催月	参加企業	参加者
3月	59社	139人
7月	70社	176人
9月	77社	162人



新型コロナによる失業者等を対象としているので、適正な参加人数というのは推測しがたいと思いますが、参加企業1社に対して参加人数がおおむね2~3人というのは少し寂しく感じます。



今後、さらに多くの人にチャンスを広げるためにもこのような機会を積極的に広報、PRしてほしいと思います。

西尾経済観光局長からの答弁

可能な限り多くの求職者の方に対して、情報を届けることが重要と思っている。

- 当事業の特設サイト設置
- 他の終了事業に参加いただいた方々に対してダイレクトメール
- 神戸市のホームページ、イベント告知サイトの掲載等々
- ハローワークや、ひょうご・しごと情報広場などの就労支援機関での案内チラシの配布
- この事業を受託している事業者の人材会社の就職・転職サイトへの掲載、会員へのダイレクトメール配信
- 新聞広告や折り込み
- 就職情報誌への掲載



登録者へのチラシ送付やダイレクトメールが意外に効果があると分かったので、令和4年度については、このあたりのアンケートから浮かび上がってくる効果的な手法に集中的に投下したい。他、新たにウェブ上でのリスティング広告実施も検討など出来れば、と思っている。こういった取り組みを重ねることにより、就労促進につなげていきたい。

かわなみ
質疑

失業者等のスキル向上について

この合同企業説明会での採用実績は、各会おおむね7~8人だったと聞いています。私の周りにも職を探している人がいますが、50代、60代になってくると、業種転換や新しい技術の習得にチャレンジできない方が多いようです。そのような方は無難な人気の高い職種にしか応募できず、結果的に採用に至らないケースが多いように思います。



労働市場では雇用のミスマッチによる失業者が高止まりしている状況であり、この現状を変えない限り、市が頑張ってマッチングを進めても、今以上の成果に結びつけることは難しいのではないのでしょうか。

このような現状を変えるためには、失業者のスキルを向上させることが最も必要なことだと考えます。

本来、このような役割を担っているのは国や県ですが、国や県の取組が十分機能しているのかどうか疑問を感じます。市が主体となって失業者のスキル向上に取り組むことは、人員や予算などの関係から難しいとは思いますが、市民の就労を支援する立場として、国や県と連携して失業者のスキル向上に向けた施策を展開できないかと考えますが、いかがでしょうか。



集まった人数が少ないと感じます。合同企業説明会にもっと来ていただく工夫を！

企業名が入ったダイレクトメールを受け取れば、『(私だったら)あ、私も候補者になっているんだな』というような思いで、参加する可能性は非常に高いと思います。ただ、受け取られた方のスキルとのマッチングがきちんとできていないと、残念ながら、採用されることはないとも思います。

西尾経済観光局長からの答弁

ミスマッチの解消に向けた取組について

- 業種、職種を超えた労働移動を促進するためには、職業訓練のさらなる充実が必要と考えている。
- 国・県による公的職業訓練制度については、本市のホームページでも案内しているが、それ以外にも県・市協力で開設している『ひょうご・しごと情報広場』のほうでシニア向け相談窓口や、本市で開催する転職・再就職説明会での資料配布、相談窓口における求職者の方々への周知にも、今後とも努めていきたい。



マッチングするだけでは実際に雇用に結びつくことは非常に難しいと思う

身なりやマナー等の問題もあるかもしれませんが、スキル習得をチャレンジする気持ちになるようなきっかけづくりの他、身なりやマナーも含め、全方位的にアドバイスできるようなものがあっても良いのかもしれません。

また、仕事が見つからないことで『負のスパイラル』に陥らないように、市が寄り添って様々な施策を考えなくてはいけないと思います。その人が主体的にスキルアップに取り組めるような環境づくりというの、ぜひ検討いただきたいです。

かわなみ
質疑

プレミアム付きお買物券の デジタル化について

高齢の方も多く利用されていることや、店舗側に初期投資が必要であることなど、一定の負担を伴うことは理解しますが、時には行政が音頭を取って『デジタル化にかじを切る』ことも必要ではないのでしょうか。



デジタル化の導入には一定の初期投資が必要ですが、一度プラットフォームを構築すれば、その後はカスタマイズを加えるだけで対応が可能です。お買物券をデジタル式に移行したほうが長期的には事務経費を安く抑えることができ、より多くの金額をプレミアム分に回すことができると考えます。



プレミアム付きお買物券の事業について

商店街・小売市場お買物券事業 3億円(令和3年度2月補正)
市内の商店街・小売市場で利用できるプレミアム付お買物券(第3弾)を発行し、消費喚起に取り組む事業



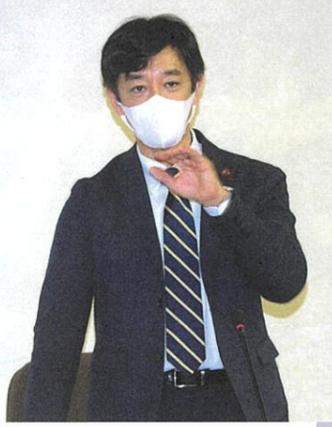
3億円の事業費の内、事務事業費(紙券の発行費等々)が8,000万円もかかっています。毎回、事務事業費が多額で、且つ、集計も地域の商店街や市場の方々の事務局にご負担をかけています。デジタル化を進めることで、そういった費用の極小化、煩わしさを極小化できるのではないかと考えます。



紙券で8,000万円の事務事業費とはかなりの費用だな！と正直な感想です

【企業版アーバンイノベーション神戸】 について

かわなみ
質疑



来年度（令和4年度）からは経済観光局でも【企業版アーバンイノベーション神戸】に取り組まれると
いうことですが、このような事業で重要なことは、
単なるマッチングプログラムの開
催で終わるのではなくて、企業同
士がウィン・ウィンの関係を築く
まで、行政がしっかりと伴走支援
することだと考えます。

【企業版アーバンイノベーション神戸】が、参加する企業に対して
どこまでサポートしようとしているのか、お伺いします。

Urban Innovation KOBE（アーバンイノベーション神戸）

起業・スタートアップ支援による神戸経済の活性化を目指す神戸市が、2017年より実施しているプロジェクト。神戸市の地域・行政課題をスタートアップ（成長型起業家）と市職員が協働して解決する国内自治体初の取り組み。

かわなみ
MEMO



企画調整局が担当の【アーバンイノベーション神戸】での実績をインターネット上で拝見したところ、課題解決率70%以上、継続利用率40%以上と資料にあり、ちょっと少ない？と思いました。

課題解決率は70%、7割打者なら良いのかな、という気はしますが、

疑問に思ったのは、継続利用率が40%以上という点です。良いシステムであれば、継続して続くのでは？と思うので、ヒット率が低いのでは、と思う次第です。

最終地点は、【企業版アーバンイノベーション神戸】をすることにより、課題解決のみならず、企業が雇用を増やし、そして法人税がしっかりと払えるという点が大切だと思います。



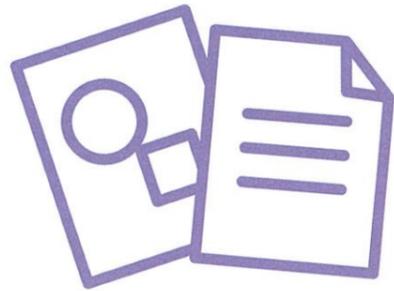
この事業が終わって、神戸の会社として雇用が増えたのかどうか、あるいは、法人税額が増えたのかどうかまで検証されるつもりはあるのでしょうか？

企業の業績にもう少しリンクするべきでは？

かわなみ
要望



雇用の人数あるいは売上げ、法人税の額が分からないというのであれば、売上高や、経常利益などでも見る指標はあると思いますので、参加企業には参考資料として提出してもらおうなどして、神戸にどれだけ寄与して下さったのか、ということも定量的に観察していただきたいと思います。



古泉経済観光局担当部長からの答弁

●デジタル化については、早い段階から検討していた。システム会社が開発したプラットフォームを使ってできないかと、複数社と意見交換を行ったが、今回事務費8,000万ぐらい、前回の事務費ということで考えたところ、なかなかそこには合わず、紙券で考えている。

●市独自のプラットフォームの構築というのが良いのか、進歩していくテクノロジーに従ったものが良いのか、今の段階では判断が難しい。

●（かわなみ）委員指摘の本市独自のプラットフォームの構築ということは、新たな考え方だと思っている。我々もそれを検討したことはないのだが、するとなれば相応の知識と多額の費用がかかってくる。

●『時には行政が音頭を取ってデジタル化にかじを切っていく』ということは、まさにそのとおりだと考えている。引き続き我々も様々な研究をしてデジタル化に向けて進めていきたい。



西尾経済観光局長からの答弁

【企業版アーバンイノベーション神戸】においては、マッチングを成功させるためにも、マッチングプログラムの開催で終わることではいけないと我々も思っている。

マッチング企業同士の信頼関係を構築し、その後の事業化につながるまで、行政がしっかりと伴走支援していくことが重要であると我々も認識している。

令和4年度のプログラム終了後においても継続したサポートが必要、こういった視点も必要かと思っている。

そのために、本プログラムと併せて立ち上げるビジネスコミュニティにおいて、同コミュニティに配置予定のコミュニティマネージャーが、他の参加者との対話による課題解決を促す。

このような取り組みをするとともに、マッチングプログラム終了後も、状況に応じて個別にフォローアップをしていきたい。

かわなみ



フォローアップしていくということですが、採択する案件の数、課題の解決率あるいは継続してそれを利用する率というものは、どのようにお考えですか？

西尾経済観光局長からの答弁

- 課題を出していただける大企業、中堅企業、5から10社程度を考えており、その課題解決に取り組む企業を公募したい。
- 単年度で解決しない可能性もあるので、そのあたりも踏まえ、課題解決率100%を目指して事業を進めていきたい。



西尾経済観光局長からの答弁

企業の雇用が増える、法人税額まで追跡できるかという点、正直、そこまでの追跡は不可能ではないかと思っている。

今回の事業で、雇用が実際に増えてほしいし、このようなオープンイノベーションの取り組みを『神戸の地が先進的に実施する』ということで、外からの企業も『神戸の地で仕事を見つけるために定着』いただく等にもつながるのではないかと思います。

それらがトータル企業の付加価値を高め、企業の製品、プロダクツの付加価値を高めることが我々の狙いですので、そのような観点で、今後とも定量的な数字も含め、何が設定できるのか、研究していきたい。

かわなみ
要望



デジタル化に向けて

店主ご自身がキャッシュレス決済やデジタルツールに慣れていらっしゃる店舗へは、デジタル化の提案は踏み込みにくいと思いますが、そちらにずっと合わせていると、ハイブリッドであれ、なかなかデジタル化が進みませんので、ぜひとも行政に旗を振っていただきたいと思うのです。

神戸市から事業者いつまでにデジタル化を進めるのか、目標年次を持って伝えるべきではないかと思っていますので、目標年次を設定して取り組んでいただきたいと思っています。

より積極的な広報を

また、この『プレミアム付きお買い物券』の制度を知らない方が、まだまだたくさんいらっしゃるようです。市のホームページ等でもっと広報いただき、事業を十分に周知いただくようお願いいたします。



4月から三宮周辺エリアが市バス110円で乗車できます!

(通常210円のところ)

※交通系ICカードをお持ちの場合



いよいよ4月から三宮周辺エリア(駅ターミナルから概ね1km圏内)が、バス110円で利用できるようになります!!

河南(かわなみ)が都市交通委員会を通じて、都心三宮エリアにマンションが増えて、子供の図書館も出来ることから、三宮都心部のチョイ乗り需要を掘り起こすべきだと主張し、100円バスの提案を行ってきましたが、この度、ICカードを使った110円バスで実現しました!



かわなみ要望 (Kawanami Request)

令和2年(2020年)10月21日 都市交通委員会にて

河南(かわなみ)提案より、約1年半越しに実現! 市民に便利なサービスになることを期待しています。

系統	対象バス停
② 92	加納町3~地下鉄三宮駅前~三宮センター街東口~市役所前~三宮神社前(降車のみ)~元町1
⑦	山本通3~中山手3~トアロード~元町駅前~三宮町2~三宮町1~三宮駅前~雲井通~磯上公園前~市民福祉交流センター前
18	加納町3~地下鉄三宮駅前~三宮駅前~三宮駅ターミナル前
25	中山手3~三宮駅前~三宮バスターミナル
29	新生田川~雲井通~三宮駅ターミナル前~三宮駅前~東遊園地前~税関前
64	地下鉄三宮駅前~三宮駅前~三宮駅ターミナル前
66	加納町3~地下鉄三宮駅前~市役所前~貿易センター前~貿易センター北~三宮センター街東口
101	旭中央住宅前~三宮駅ターミナル前~旭通3~新生田川
新港	三宮駅前~神戸市立博物館前~京町筋(神戸ポートオアシス、新港町は対象外)

令和2年(2020年)10月21日 都市交通委員会での河南(かわなみ)発言

いろんな挑戦をしていただきたい! 停留所の設置と1区間料金100円の検討を提案・要望しました。

●東遊園地に子どもの図書館ができるということは、三宮と子どもの図書館を結ぶぐらいの所に停留所があれば、お子さん連れの方も行きやすいだろうし、その辺りはマンションも増えている。

●仮に料金体系が210円均一であれば、恐らくその辺りの方は乗れないと思うのですが、仮に1区間100円などで設定できれば、その地域のマンションの住人や、中突堤からハーバーランドにちょっと歩いていくのには面倒だけど100円だったら乗ろうか、1区間だったら乗ろうかというような観光客の方も多いかと思うので、バスの停留所を機動的に考えるということ、210円で均一料金にするのではなく1区間100円、これを提案したい。

210円であればちょっとハードル高いですが、100円であれば乗る方は、かなり増えると思う。需要の掘り起こしをしていく必要性をお考えいただきたいこと、地域の人口形態もにらみながら組み合わせいただければ、と要望します。



道路整備や街の美化、公園、交通機関など暮らしの中で気になるチョット不便に思うこと、お住まいの地域のこともぜひお聞かせ下さい。

編集後記

今回は経済観光局への質疑を中心に報告しました。神戸の経済をより良くしていくためには、社会ニーズにあった企業が神戸に進出・起業・活動して下さることによって、社会が安定的に発展していきます。そのような経済活動に、神戸市が伴走支援することが必要ではないか、との視点で質疑しました。

これからの神戸はどうなって欲しいか、皆さまのお声をお聞かせ下さい。また、市政に関するお困りごとなど、河南(かわなみ)にお寄せください。 ~かわなみただかず~

発行: 自由民主党神戸市議員団 かわなみ市政報告vol.38 編集: 2022年(令和4年)3月 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館28階 TEL.078-322-5846

【かわなみ事務所】 〒651-0095 神戸市中央区旭通2-3-5 TEL.078-806-8633 FAX.078-806-8653 contact@55kawanami.com http://www.55kawanami.com

神戸市議員 自由民主党神戸市議員団

かわなみ ただかず 《中央区》





ごあいさつ

日頃から市政へのご理解、ご協力に感謝申し上げます。
一昨年春から始まった新型コロナウイルス感染症は、変異を重ねるたびに感染拡大の波が大きくなり、一向に収まる気配がありません。元の生活を取り戻すためには、ワクチン接種の効果に期待し、感染予防の努力を続けながらこのコロナと闘っていかねばなりません。
今しばらくお互いに頑張ってください。

一方、我が国はもとより世界中がコロナ対策で大変な時に、ロシアが隣国ウクライナに武力でもって侵攻、平和を望む国際世論を無視、大変危険な状況となっています。
コロナ対策と戦争の脅威、内憂外患、厳しい日々が続きます。

令和4年度神戸市予算は新型コロナウイルスの感染防止と医療体制の維持、市民生活の安定と経済活動の維持・回復に重点をおいた予算となりました。

市会では市民生活に直結する諸課題について各種議論がなされ、私も会派を代表し関係当局に質疑(4頁に要点を報告しています)いたしました。また、ウクライナへのロシアの侵攻に対して厳しい抗議を全会一致で採択いたしました。

今後とも皆様からのご要望やご意見をいただき、諸課題をしっかり受け止めながら活動を続けてまいります。



令和4年3月4日 予算特別委員会質疑

兵庫運河の自然を再生するプロジェクトが動いています

1 兵庫運河(貯木場の跡地・浜山小学校前)では海草「アマモ」が育っています

2020年国土交通省が港湾整備のため第5防波堤撤去工事から出た廃棄される土砂や石材を使った、兵庫運河に人口の干潟を作りました。その干潟に地元の漁業組合や兵庫運河を美しくする会など地域の皆さんが、水質浄化や藻場の造成、環境美化活動をするなか、また、浜山小学校の生徒たちの環境学習も兼ね、アマモの移植や育成に取り組んでまいりました。ここ数年移植した場所から離れた場所にも広がりを見せ、かなりの成果が出ています。



兵庫運河での環境学習 浜山小学校の子供たち



広報紙KOBEBE3月号より市長のコメント

2 兵庫運河が脱炭素社会の実現に向けた「Jブルークレジット」認証申請が認証されました

近畿地方整備局は脱炭素社会の実現に向けて港湾にカーボンニュートラルポートの形成に取り組んでおり、この度兵庫運河の「兵庫運河の藻場・干潟と生きもの生息場づくり」のプロジェクトに、「Jブルークレジット」の譲受人公募が行われました。(公募期間令和3年12月28日～令和4年1月31日)

3 ブルーカーボンの取り組み、あさり・アマモの育成事業や環境学習を区内の各小学校に広げては

兵庫運河では貯木場廃止のあと、神戸市環境局が水質浄化のため、地元有志と各小学校の生徒や父兄とともに市内の真珠会社の協力・指導のもと真珠貝プロジェクトを立ち上げ活動を続けています。また、今回地元浜山小学校の子供たちが漁業組合・地元の有志の皆さん指導協力のもと環境学習として干潟にあさり・アマモの育成に取り組む成果を上げています。

このように兵庫運河を核として「持続可能な社会を作るため海の環境を守る」こうした環境教育を楽しみながら学べる活動を広く区内の小中学校に広げては…と私は議会で発言し、教育委員会や学校側の理解を得ながら進めています。(4頁の子ども家庭局・教育委員会の質疑を参照ください)



浜山小学校での環境授業

令和4年度の神戸市の予算の概要です (神戸市予算書資料から)

令和4年度の予算は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策と、それを支える医療提供体制の確保。同時にコロナによって影響を受けた市民生活を守り、売り上げや利益に影響のあったお店や商店、そして会社・企業などの経済活動の維持・回復に最優先に取り組まれた予算になっています。

また、自然豊かな神戸の街を、誰もが学び、働き、子育てしやすい、住み続けたいまちにするために「まちの質」「くらしの質」を重視した施策を強化し、持続可能な開発目標SDGsを推進するため「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現に向けて各種施策を進めていく内容となっています。

次の「7つの柱」に沿って、皆様の負託にお応えいたします。

- 1 コロナとのたたかいに打ち克つ
- 2 健康と安全を守る
- 3 温もりのある地域社会を創る
- 4 のびやかなくらしと環境を創る
- 5 力強い神戸経済を創る
- 6 未来に輝く神戸の街を創る
- 7 DXの活用による市民参加を進める

令和4年度の予算の概要

(単位：百万円)

会計別	令和4年度
一般会計	886,850
特別会計	660,499
企業会計	333,046
合計	1,880,395

(1)一般会計

○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と医療提供体制の安定的確保、市民生活・経済活動の維持・回復に最優先で取り組むとともに、「まちの質」「くらしの質」を重視した施策を強化し、SDGsの推進による「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現に向けた施策を積極的に計上した。

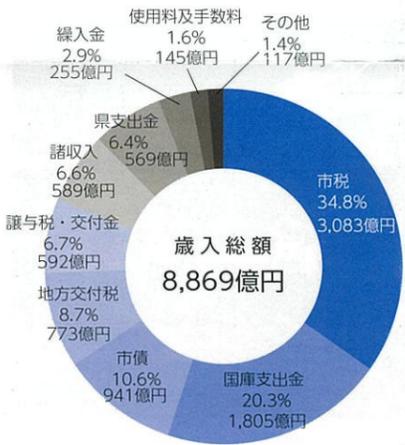
(2)特別会計

○超高齢社会の進展に伴い介護保険事業費や後期高齢者医療事業費が増加した一方で、本場卸売棟・仲卸売場棟再整備の事業進捗に伴い市場事業費が減少した。

(3)企業会計

○ウォーターフロント地区の再開発に伴う土地購入費の減等により港湾事業会計が減少した一方で、設備改修等により高速鉄道事業会計が増加した。

款別歳入予算の構成比



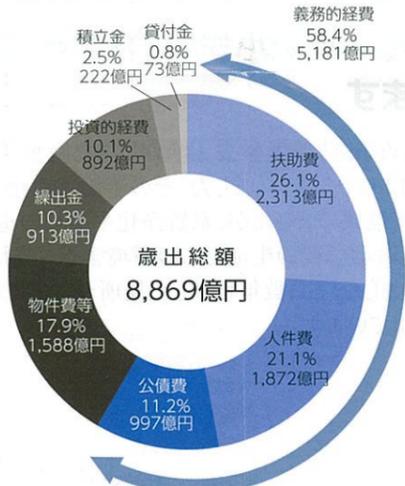
予算のなかで一番大きな位置をしめる市税の内訳について報告します。

一般会計歳入予算の概要

(単位：百万円, %)

	令和4年度	構成比
市税	308,349	34.8
譲与税・交付金	59,229	6.7
地方交付税	77,325	8.7
分担金及負担金	536	0.1
使用料及手数料	14,477	1.6
国庫支出金	180,455	20.3
県支出金	56,913	6.4
財産収入	8,767	1.0
寄附金	2,353	0.3
繰入金	25,476	2.9
繰越金	0	0.0
諸収入	58,894	6.6
市債	94,078	10.6
合計	886,850	100.0

性質別歳出予算の構成比



予算のなかで一番大きな位置をしめる補助費の推移について報告します。

一般会計歳出予算(性質別)の概要

(単位：百万円, %)

	令和4年度	構成比
義務的経費	518,149	58.4
人件費	187,203	21.1
補助費	231,286	26.1
公債費	99,660	11.2
投資的経費	89,209	10.1
補助事業	29,650	3.4
単独事業	59,559	6.7
繰入金	91,262	10.3
貸付金	7,285	0.8
積立金	22,179	2.5
物件費等	158,765	17.9
合計	886,850	100.0

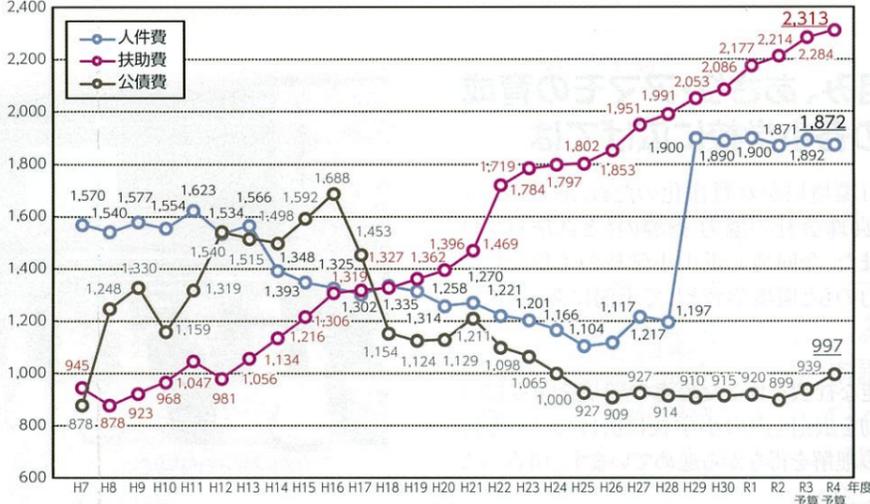
市税

(単位：百万円)

	令和4年度
市民税	147,859
個人市民税	126,237
法人市民税	21,622
固定資産税	116,035
軽自動車税	1,912
市たばこ税	9,460
特別土地保有税	0
入湯税	288
事業所税	9,358
都市計画税	23,436
合計	308,349

人件費・補助費・公債費の推移

(億円)



補助費の増減(主な事業)

令和3→令和4 (増減)

(単位：億円)

生活保護 764→752 (△12)	・生活扶助 ・住宅扶助 ・医療扶助
児童福祉 851→851 (△0)	・教育・保育給付等 ・児童手当費 ・児童扶養手当費 ・こども医療費
障害者福祉 578→624 (+46)	・自立支援給付 ・障害児通所入所・措置 ・地域生活支援事業
老人福祉 23→23 (△0)	・養護老人ホーム施設措置
衛生・教育等 68→64 (△4)	・不妊治療 ・難病医療費助成 ・就学援助

国際都市「神戸」は外国人が多く住んでいます

多文化共生・国際交流の推進のため各種施策が実施されています

1. 在住外国人への支援として

外国人学校への助成・神戸国際コミュニティーセンターの運営など

2. 留学生への支援として

神戸市留学生への奨学金(月額8万円・対象者30人)

3. 姉妹都市等との交流(下記各市と記念事業や経済交流を進めています)

姉妹都市 シアトル市、マルセイユ市、リオデジャネイロ市、リガ市

ブリスベン市、バルセロナ市、仁川広域市

友好都市 天津市

親善協力都市 フィラデルフィア市、大邱広域市

4. 海外ヘシティブロモーションの推進

市内での外国人登録者数は令和4年1月末48,211人・138か国・地域

1.韓国 15350 2.中国 13583 3.ベトナム 7815

4.ネパール 1540 5.フィリピン 1388 6.アメリカ 942

7.インド 858 8.インドネシア 500 9.ブラジル 425

つづいてイギリス、ミャンマー、タイが300人台 カナダ、パキスタン、バングラディッシュが200人台とつづいています。

ロシアの侵攻により神戸市内でもウクライナ支援の輪が広がっていますが、現在在住するウクライナの人々は66人です。

市内の大学・短大・専修学校での外国人留学生は(令和3年5月現在)

大学・短大 5581人 専修学校 2033人

令和4年度 兵庫区の区裁量予算です

令和4年度兵庫区裁量予算 71,566千円

1. 兵庫区裁量予算

1. 広報・広聴関係 8,674千円

兵庫区政90周年記念事業・空家・空地調査(要望者からの適正管理依頼)など

2. 防犯・防災関係 3,150千円

3. 区のまちづくり関係 6,492千円

兵庫区北部空家対策事業など

4. こども関係 7,845千円

兵庫区こどもプロジェクト・親育ち応援プログラムなど

5. 高齢者・障害者関係 1,022千円

地域見守りネットワークの構築など

6. 区のスポーツ振興関係 2,600千円

7. 補助金関係 37,384千円

はっぴい広場、兵庫運河祭 5,000千円

神戸新開地関係 22,230千円(全額特定財源)など

8. 事務費 4,399千円

学校再開発などの空地は 次のように活用されました(兵庫区関係分)

大規模未利用市有地については、民間活用の導入を前提とした地域課題の解消、活性化に資する事業の事業者募集など、地域特性等に合わせた利活用を実施

物件名	所在地	面積(m ²)	処分形態	施設概要
湊山小学校跡地	兵庫区雪御所町	約6,000	定期借地(15年)	【プロポーザル型事業者公募】 各種複合施設 カフェ、レストラン、緊急避難所、学童、小規模保育所、クリニック、環境教育施設等
旧夢野中学校跡地	兵庫区熊野町	約15,700	売却	【プロポーザル型事業者公募】 介護医療院 施設内セミナースペース、地域開放型ヒーリングガーデン、緊急避難所併設
荒田小学校(校舎跡地)	兵庫区荒田町	約3,000	売却	【用途条件付一般競争入札】 集合住宅 地域福祉センター、公園、消防団施設
荒田小学校(第2グラウンド跡地)	兵庫区荒田町	約2,200	定期借地(50年)	【プロポーザル型事業者公募】 多世代交流複合福祉施設 サービス付き高齢者向け住宅、コミュニティカフェ、保育所



兵庫区では マイナンバーカードの 普及促進に努めています

行政のデジタル化や住民サービスの迅速化・効率化を推進するため、区役所で円滑に交付ができるように臨時窓口を設けたり交付体制を強化し、多くの区民の皆様がマイナンバーカードを申請してくれるよう普及促進に努めています。

令和4年2月末時点の交付数

兵庫区:50,970枚 交付率:46.7%

市全体:768,420枚 交付率:50.3%

参考までに

政令指定都市20市の中で1位・全国の交付率:42.3%

人口は令和3年1月1日 兵庫区:109,214人

市全体:1,526,835人

こべっこランドが兵庫区和田岬に移転されます (旧中部下水処理場あと 令和4年7月 工事完了予定 9月供用開始予定)

こべっこランド(総合児童センター)は、さまざまな体験型の講座やイベントの実施、子どもたちが遊び・学び・心身ともに健やかに育つようサポートする大型児童センターです。

現在、こべっこランドはハーバーランドの8階建てのビル内にありますが、築30年を経て建物が古く、また児童福祉施設基準への適合などの理由により、新しく建築移転することとなりました。中部下水処理場の跡だけに、敷地面積も広く、鉄筋コンクリート造地上4階建て、建物の延べ床面積は現在の3624㎡から4100㎡と広がっています。屋外広場も1000㎡あり、駐車場、駐輪場も十分備えています。併設される子ども家庭センターも現在の2370㎡から5700㎡と広くなりました。多くの子供たち、ご父兄の皆さんの利用を期待しています。



こべっこランド完成図



建設中のこべっこランド(旧中部下水処理場跡)

令和4年第1回定例市会2月議会(2月17日～3月29日)が開かれました。 予算特別委員会が設置され、私は第3分科会で次の2局の審査で発言しました。

こども家庭局(3月1日火)で5項目にわたり質疑いたしました。質疑のやり取りは要点のみ。

- ①ママフレのリニューアルについて ②区役所における子育て支援連携について
- ③こべっころんどの移転について ④地域子育て支援拠点事業について
- ⑤ 新生児聴覚検査に対する医療機関の支援

1. ママフレのリニューアルについて

補足 ●ママフレのリニューアルは、令和5年を予定。尚、スマートシティポータルログイン機能を備えたプッシュ型情報提供スマートこうべ(令和4年3月28日に開設運用スタート予定)の機能と連携を予定。

平野 今回令和4年度の予算にママフレリニューアルが予算計上されている。新しくなるママフレについてスマートシティポータルサイトのプッシュ型広報のスマートこうべと連携することが前提になっているか、またその全容について伺いたい。

中村子供未来担当局長 スマートシティポータルのスマート神戸は今年度3月下旬に開設運用スタートする予定。ログイン機能を備えてプッシュ型情報提供していくことも検討している。この機能と、ママフレのサイトと連携していくために、それぞれに掲載していく情報のコンテンツの元となるデータを整備をしていき、ログインシステムの中で情報が引き出せる形でプログラムを入れ、プログラムを適用した形でデータ整備をしていくことが必要。スマートシティ神戸との連携が非常に重要。使い勝手が上がるようにやっていきたい。

平野 リニューアルにおいての子育て情報のデータを区役所と連携していただきたい。

中村担当局長 情報の濃淡、情報のバリエーションも異なる状況の区の方と話をしながらきちんと進めていけるように努めていきたい。アンケートも踏まえて見直し、閲覧される方の端末によって見やすさを工夫し、SNSも情報発信で取り組んでいきたい。

2. 区役所における子育て支援について

平野 今年の4月から区役所のこども家庭支援課と健康福祉課が一緒になる。こども家庭局として区役所における子育て支援をどのように考えているのか。

山村こども家庭局長 令和4年の区役所の組織改正で健康福祉課とこども家庭支援課が一つになり、保健福祉課という形で複雑多様化するニーズに連携して対応していく。保健福祉課が区役所の中で子育て支援の総括的な関係にある。各課が分担し連携し、区役所全体として支援を行っている状態で、子供家庭局は各事業ごとにある各区役所ともしっかり連携をしている。今後も各区役所としっかり連携しながら、神戸市全体として子育て支援をしっかりやっていきたい。



平野 区役所における子育て支援情報の発信についてもっともっと深くこども家庭局が連携すべきだと考えるがいかがか。

中山副局長 各区においてかなりばらつきがある現状は認識をしている。やはりこの状態は市全体の子育て支援という観点から課題と感じている。改めて、市全体の広報を統括している広報戦略部、区役所と連携し、効果的な情報発信に努めていきたい。

3. こべっころんど移転について(紙面の都合上一部割愛します。)

【こべっころんどの活用と小学校との連携について】

平野 こべっころんどの近隣の小学校では、ブルーカーボンの取り組みとして、あさり、アマモ、真珠貝の育成授業や環境学習が行われており、この取り組みを他の小学校にも広げたいので、新しいこべっころんどの300平米あるホールを活用し環境授業に利用するという観点でも非常に有意義と考えるがいかがか。

山村局長 地域の小学校との連携は、こべっころんどが担うべき業務。ホールや研修室も用意しており、このような施設を環境学習を実施する場所として、ご利用いただきたい。指定管理者と小学校が連携しそのような事業を実施することについても我々としては積極的に対応をしていきたい。

【こべっころんど近隣マップの配布について】

平野 こべっころんどの利用者が近隣の店舗を利用してもらうためにこべっころんどで地域団体が作成したガイドマップなどの配布が考えられないか。

八乙女副局長 地域連携であったり、地域活性化のためにこれからの指定管理者が取り組むということは非常に重要。そのため地域団体等が作成したガイドマップなどを積極的に配布して、協力をしていくことで考えていきたい。

4. 地域子育て支援事業について(紙面の都合上割愛します。)

5. 新生児聴覚検査による医療機関の支援(紙面の都合上割愛します。)

教育委員会(3月4日金)で3項目にわたり質疑いたしました。質疑のやり取りは要点のみ。

- ①兵庫運河における環境授業の浜山小学校以外への小学校への展開
- ②学校での内科検診時の上半身脱衣の方針見直しもしくは、柔軟な対応について ③イエナプラン教育について

1. 兵庫運河における環境授業の浜山小学校以外への小学校への展開

平野 兵庫運河でのアサリ、アマモの育成実証実験で浜山小学校の児童生徒と一緒にしている取り組みは、環境面だけでなく教育面からも非常に有意義なものとする。教育委員会として浜山小学校の活動についてどのように評価されているのか。

内藤教育長 浜山小学校は海などの生き物を見つけ、兵庫運河を再生するプロジェクトを題材としてアマモの育成等の環境学習、兵庫漁協のご協力のもと漁師の願いを知って自分たちができることを考える環境学習を子供たち自身が環境問題を自分ごととして捉え、そして主体的に良い取り組み学習活動となっている。また地域の人々、関係機関の方々と触れ合うことにより、兵庫運河や生き物を大切にしたい気持ちが子供たちに芽生え、子供たちの育成に繋がる取り組みであると感じており、大変意義があるものと評価している。

平野 今まさに神戸が取り組まなければならない脱炭素、カーボンニュートラルの大変重要な事柄であるため、神戸市内の他の小学校にも展開していくべきではないか。

松本強化指導担当部長 各学校は地域の環境や学校状況に応じ適切に学習の題材を設定しており、浜山小学校の先進的な取り組みを、まずは同一区内の小学校に紹介するとともに、このように学校と連携していただける環境授業や場所等も紹介環境の学習の支援、しっかりと努めていきたい。

2. 学校での内科検診時の上半身脱衣の件について

平野 神戸市では原則上半身脱衣ということですが、他都市では下着の着用を認

めるところもある。ただ脊柱の側弯、背骨の検査の問題であったり、またその側弯によって過去の裁判があったということも聞いている。虐待のサインだったり皮膚疾患の確認のためにと医師会の意見は一定理解はできるが、プライバシー保護や児童生徒の感情面を考慮いただき、方針を見直し、もしくは対応方法を柔軟にすることができないのか。

長谷川事務局長 我々神戸市としても可能な限り児童生徒の心情に配慮することがやはり重要だと考えており、今後、例えば薄手の肌着を着たまの状態で肌着を繰り返さなくても、聴診器を当てやすいように、児童生徒本人が工夫して、先生の前で隙間あける、背中を見る際には、養護教諭が後ろ側だけ肌着をめくることができないか、具体的にこれから検討していきたいと考えている。いずれにしても児童生徒や保護者の皆さんには、検診の趣旨、実施方法について、引き続き、丁寧に周知、説明をさせていただきたいと考えている。

平野 教育委員会としては前向きな対応ということだが、医師会との調整で、そこは論破できるか。前向きに進めるという自信はあるか。

長谷川事務局長 やはり医師会の先生方の不安としては、正確な診療ができるかどうかということですので、やはりそこは担保していく必要があると思う。子供たちの心、思春期の子供たちの思いもよくわかる。見ず知らずの方に見られるというあの気持ち。もうよくわかるのでそういったところ我々が間に立って、しっかりと説明をしていきたい。

3. イエナプラン教育について(紙面の都合上割愛します。)



<p>神戸市会議員平野達司(たつじ)事務所 神戸市兵庫区東山町2丁目8-61マルシン市場2F TEL:078-531-8780 FAX:078-531-5301 メールアドレス:th.tatsuji.hirano@gmail.com</p>	 平野たつじ HP	 平野たつじ Facebook 神戸市の情報をお伝えいたします。	<p>神戸市会の 本議会、委員会を インターネットにて 閲覧できます。</p> 
---	--	---	---

全ての児童達のしあわせを！ 里親事業の更なる充実へ！

上島のりひろ議員が一般質問に登壇!!

様々な事情を抱え、家族と離れて暮らす児童達の為、里親制度がありますが、普及に課題が多い中、東灘区では初めてのファミリーホームが神戸市の補助金も得て令和3年に開設されました。これは長年里親をなさっているご夫婦がより多くの児童達の為にとファミリーホームに衣替えをされたものです。このようにファミリーホームを運営して下さる里親もいらっしゃる中、まだまだ



令和3年12月一般質問

神戸市では里親の数は少なく、普及には課題が多く、特に義務教育終了後の支援が十分とはいえません。そこで神戸市として制度の認知度向上や経済的な支援に注力して里親になることへの不安解消に取り組み、進学をサポート等も行うべきと上島議員は市長に質しました。また、上島議員の発案により自由民主党神戸市議会議員団の予算要望においてもファミリーホーム整備を一層推進し、里親の意見をヒアリングの上、里親事業に必要な市の体制を充実すること、また里子の学習機会の確保の為に教育委員会、市立幼稚園、小中高各学校は里子の立場になって里親の方々ときちんと連携することを要望しました。これを受けて神戸市は上島議員の質問に里親・里子に対する支援はもっと力をいれなければならない分野であり、単に啓発にとどまることなく、里親に対する直接支援を拡充することを含め検討したいと力強い答弁があり、令和4年度の予算案においてもファミリーホームの増設が決定し、更に里親及びファミリーホーム養育者の交流会の開催も実現しました。今後も人の子も我が子も同じ心でという精神に立ってこの社会において様々な事情で子供が養育することが困難な実親にかわって里親家庭で温かく健やかに里子が育つことを実現する為、里親事業の充実に取り組んで参ります。

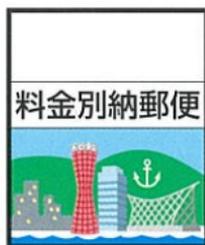
どのような些細な
ことでも結構です。
ご意見やご相談は

神戸市会
議 員

うえはた
上島のりひろ

まで
お寄せください。

郵便はがき



自由民主党神戸市会議員団

神戸市会
議員

うえはた
上島のりひろ

に対する政策提言・市政相談はこちらまで ↑



市政報告
東灘区版



令和3年12月一般質問

社会正常化に向けた 新型コロナ対策を！

神戸市会議員 上島のりひろ議員が一般質問に登壇。上島議員は、新型コロナウイルス感染症によって混乱した社会を正常化するためにいつまでも一律による自粛や行動制限ではなく、定量検査を行い、抗体量に基づいた行動基準が肝要であると新たな視点の提案を行いました。

発行：自由民主党神戸市会議員団(神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館28階)

TEL：078-322-5846 FAX：078-330-0239

E-mail：uehata.kobe@gmail.com

2022年、東灘区六甲アイランドの魅力向上へ!

六甲アイランドの活性化に向けて、これまでも自由民主党神戸市議員団は取り組んで来ました。令和4年度の予算要望においても上島のりひろ議員の提案により、六甲アイランドの未利用地を活用して、『コストコ』などの大型商業施設を誘致し、島内の活性化をより具体的に進めることが盛り込まれ、商業施設の誘致や六甲ライナーの運賃についても負担軽減となる運賃となるように、上島議員は外郭団体特別委員会や経済港湾委員会の場において質疑しています。これらが功を奏して、神戸市は令和4年度の新年度予算案において、以下の具体的な事業を実現するべく予算が計上されました。

<サン広場 イメージパース>



<スペイン階段 イメージパース>



1. AOIA跡地の利活用に向けた基盤整備(インフラ整備)
2. 魅力発信や回遊性向上を図るデジタルサイネージの設置
3. リバーモール空間を活用した足湯施設の設置
4. 神戸ファッションプラザの活性化(サン広場:ふわふわドーム(子供向け大型遊具)・ベンチの設置 床面の人工芝化・一部タイル改修、スペイン階段:スペインタイルによる美装化・ベンチの設置など)



令和3年決算特別委員会で子供達の学力向上、学齢に応じたクラス編成、修得主義導入を質疑する上島議員

今後、更に六甲アイランドの魅力を上上げる為に、六甲アイランドを英語教育特区とし、より価値の高い六甲アイランドを実現するなど東灘区民の皆様のご意見を市政に反映して参ります。

<イメージパース>



どのような些細なことでも結構です。ご意見やご相談は

神戸市会
議 員

うえはた
上島のりひろ

まで
お寄せください。

郵便はがき



自由民主党神戸市会議員団

神戸市会
議員

うえはた
上島のりひろ

に対する政策提言・市政相談はこちらまで ↑



市政報告
東灘区版



令和3年12月議会一般質問

社会正常化に向けた 新型コロナ対策を！

神戸市会議員 上島のりひろ議員が一般質問に登壇。上島議員は、新型コロナウイルス感染症によって混乱した社会を正常化するためにいつまでも一律による自粛や行動制限ではなく、定量検査を行い、抗体量に基づいた行動基準が肝要であると新たな視点の提案を行いました。

発行：自由民主党神戸市会議員団(神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館28階)

TEL：078-322-5846 FAX：078-330-0239

E-mail：uehata.kobe@gmail.com